

高齢者配食、作業受注も

張

NPOOゆうゆう24 事業計画を説明

夕

【夕張】市内で障害者の受注を目指し、障害者による高齢者向け配食事業を計画するNPO法人「当別町青少年活動センターゆうゆう24」(石狩管内当別町)は29日夜、市内で計画の住民説明会を開いた。配食のほか、今後は企業から下請け作業を預かる児童ケアサー

ビスなどを7月下旬から順次行う。同館で行われた説明会には約30人が参加。同法人の大原裕介所長が「障害者が高齢者を支える場になりたい」と事業の狙いなどを説明した。事業所名は「さぼーとセンター シューパー」とする。

企業からの受注は配食などが軌道に乗ってからの取り組み、菓子箱折りやバック詰めなどの作業を想定。また児童ケアサービスは、8月から始める計画だったが、準備に時間がかかり9月となる見通し。

住民に事業概要を説明する大原所長(中央)



住民に事業概要を説明する大原所長(中央)

(田島工幸)